

24回路)、マイクロフォン(55台)、レコードプレーヤー(2台)、テープレコーダー(5台)、マイクエレベーター装置(3台)

その他の舞台設備 緞帳2枚、紋り緞帳1枚、各種幕類、所作台、音響反射板、迫りあげ装置(大迫り、小迫り、オーケストラ迫り、花見スッポン)、吊物(16本)、仮設能舞台一式、グ

ランドピアノ(2台)、エレクトーン、松羽目、竹羽目

映写設備 16mm映写機2台、映写用スクリーン

以上の舞台設備については、大ホールの舞台設備の概要を記載したが、小ホールにも規模は小さいが照明、音響、映写等の設備が整っている。

第3節 事業の実施状況

昭和59年度中に財団法人福島県文化センターが実施した事業の概要是次のとおりである。

1 自主事業

区分	事業名	目的	期日	開催場所	対象・料金	事業内容	共催・後援	参加人員
舞台芸術鑑賞事業	文化庁移動芸術祭巡回公演 邦舞	中央の優れた舞台芸術を低廉な料金で県民の鑑賞に供し、生の舞台芸術鑑賞の機運の醸成をはかることを目的とした。 文化庁移動芸術祭巡回公演の中から我国古典伝統芸能の源流である邦舞公演を実施した。	9月6日(木) 午後6時開演 (1日1回公演)	県文化センター 大ホール	一般 S席 3,500円 A席 2,700円 B席 2,000円 C席 1,000円	文化庁移動芸術祭巡回秋季公演として実施 (公演団体)日本舞蹈協会 (演目と出演者) 長唄「越後獅子」 吾妻徳彌、橋芳慧 〃 「五月雨」 花柳寿美 〃 「羽根の秀」 花柳寿南美 地唄「鼠の道行」 吉村雄輝、吉村雄輝夫 長唄「英執着獅子」 高濱流光妙、林千枝、吾妻寛穂 (演奏) 〔長唄〕今藤長郎社中 〔蝶子〕福原百之助ほか	(共催) 文化庁 福島県教育委員会 福島市教育委員会 (後援) 福島県芸術文化団体連合会 地元報道8社 福島音楽文化協会	977名
オペラ	文化庁移動芸術祭巡回公演 オペラ	文化庁移動芸術祭巡回公演の中から演劇的要素を併せ持つ音楽として広く親しまれているオペラ公演を取り上げた。演奏は我国オペラ界の最高峰にある二期会のトップメンバーを揃え、オペラ曲の中でも最もボヒュラーなブッチャーニの名曲「蝶々夫人」を上演した。	9月30日(日) 午後2時開演 (1日1回公演)	県文化センター 大ホール	一般 S席 3,500円 A席 2,700円 B席 2,000円 C席 1,000円	文化庁移動芸術祭巡回秋季公演として実施 (公演団体)二期会 (曲目)ブッチャーニ作曲 「蝶々夫人」全幕 (演出)栗山昌良 (指揮)佐藤功太郎 (管弦楽)新星日本交響楽団 (主な配役)蝶々夫人…林ひろみ、ススキ… 安念千恵子、ピンカートン…下野昇 シャーブレス…平野忠彦ほか	(共催) 文化庁 福島県教育委員会 福島市教育委員会 (後援) 福島県芸術文化団体連合会 地元報道8社 福島音楽文化協会	1,045名